



郷土を美しくする清掃に

参加しよう！

昭和45年から続いている「郷土を美しくする清掃」は、今年で38回目を迎えます。

●日時●
7月6日(金) 14時から

(雨天の場合は7月17日火に行います)

町内の海岸、公園、道路

など公共の場所にあるゴミ、空き缶や雑草などを取り除く清掃活動を今年も一斉に実施します。

自然と親しむ機会の多くなるこれからの季節を前に、皆さんのご近所や事業所の周りも合わせて清掃し、私たちの住むこの町を美しい環境の町にしましょう。

▼昨年の様子



松前町ごみ減量対策委員会の

委員を募集します

町民の皆さんのご意見を反映させながら、ごみの減量化、再資源化をより一層進めていくために、「松前町ごみ減量対策委員会」の委員を募集します。

応募資格

年齢20歳以上の方で、委員会(毎月第1月曜日開催)に出席可能な方

活動内容

ごみの再資源化や減量について、意見やアイデアを話し合い実践する。

応募方法

住所、氏名、年齢、職業、電話番号、ごみの再資源化や減量に関する意見をご記入の

うえ、ハガキかFAXで応募してください。

募集期間

7月2日(月)～7月31日(火)

募集人数

5人程度

任期

2年間(平成19年10月1日から平成21年9月30日まで)

選考と結果

9月上旬までに応募者に選考の結果を通知します。

謝礼

年間5,000円の商品券

問い合わせ・応募先

役場生活環境課ごみ対策係

☎985-4117

☎985-4148

ごみ減量対策委員会の主な活動内容

資源ごみの分別や、粗大ごみの戸別収集を協議したほか、可燃ごみ指定袋の導入について答申書を提出しました。

ごみ処理施設やリサイクル工場の先進地視察を行い、減量化などについての調査・研究をしています。

また、今年度からは環境プラザにおいて、ごみの減量化や再資源化に関する啓発講座を実施しています。



事業系の生ごみを堆肥化している施設を視察している風景

ごみ分別Q&A

ごみ減量一ロメモ
粗大ごみ?埋立ごみ?
45リッターサイズの袋に入らない粗大ごみは、分解して埋立ごみに出すこともできますが、単に型が古いからという理由で使える製品まで簡単に捨てないよう使い続けることが減量方法のひとつだと思います。修理代がたかさんがかかるごみに出しても遅くありませんので、それまでは使いつづけてみませんか?

Q 古着・古布類は、どのようなものですか?

A 家庭で使われている衣類や布類で、たんすや押入れなどに収納し、まだ着たり使ったりできるけれども不要になったものです。

スポーツウェア、マフラー、セーター、シャツ、学生服、スーツ、コート、ダウンジャケット、肌着類など化学繊維・木綿・毛糸製の衣服、着物、帯、タオル類、シーツ、毛布などがあります。

Q 逆に古着・古布類の分別に該当しないものは?

A 綿を使用しているもの(布団、はんでん、ぬいぐるみなど)、再び使ったり着たりすることができない状態のもの、汚れがひどいもの、乾いていない衣類、はさみで切った破れや虫食い穴があるもの、裁断された布地、反物、じゅうたん、マット類

袋に入る小さいものは可燃ごみになりますので指定袋に入れて出してください。
じゅうたんや布団のように大きなものは粗大ごみです。